

シームレスライン照明器具 / 高照度型

DNL

DNライティング株式会社

SAL-D2 F

(100V~242V, 50/60Hz共用)

取扱説明書

保存用

14年09月07

お買い上げありがとうございます。ご使用前に必ずお読みください。
取付工事には電気工事士の資格が必要です。必ず電気工事店へご依頼ください。
この説明書は取付工事が終わりましたら器具をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

営業本部/東京都品川区西五反田1-13-5: 03-3492-4460

札幌営業所: 011-824-5051

仙台営業所: 022-283-3401

名古屋営業所: 052-322-2861

大阪営業所: 06-6338-1081

福岡営業所: 092-471-8075

安全上の注意



警告



- 取付工事やランプ交換、清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがあるなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。



- 器具の分解、改造は絶対にしないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。



- 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。
- 器具の取り付けは、器具の質量に耐えるところに取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。
- 電源接続の際は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。接続が不完全だと、感電、火災の原因となります。
- 電源送り容量は合計 13A までです。器具間での電源送りは取扱説明書にしたがって 100V で使用の場合は 25 灯以内、200V で使用の場合は 50 灯以内としてください。容量オーバーした場合、火災の原因となります。



- 器具に搭載している安定器の部品は、絶対に触れないでください。感電の原因となります。
- 紙や布や断熱材などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。故障、火災の原因となります。
- 器具の隙間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 器具を造営材などへ埋め込んで使用しないでください。放熱が悪くなり、故障、火災の原因となります。



- アース工事は、電気設備技術基準にしたがって確実にこなしてください。アースが不完全だと感電の原因となります。



注意

- 取付工事は、必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は、法で禁じられています。素人工事をおこないますと、感電、火災の原因となることがあります。
- 適合ランプ以外は使用しないでください。ランプ落下によるケガ、短寿命、不点灯、火災の原因となることがあります。
- 電源電圧は、定格入力電圧の範囲以内で使用してください。ランプの短寿命、不点灯、チラツキ、安定器の故障の原因となることがあります。
- 屋外では使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 暖房機器、火気などの上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 風呂場など湿気や水気のあるところでは使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 床、什器等の清掃の際は、器具に水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雲間気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- 腐食性雲間気のあるところでは使用しないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 器具を被照射面に近接した位置に取り付けしないでください。被照射面の変色や変質、火災の原因となることがあります。
- 過度な荷重をかけないでください。故障、落下の原因となることがあります。

- 器具の温度上昇は収納部の容積や器具と造営材との距離に影響されますので、放熱には十分注意して、器具と造営材との間隔をとってください。放熱が悪いと、故障、火災の原因となることがあります。
- 可燃性造営材に取り付ける場合には器具との間隔をとってください。火災の原因となることがあります。
- 器具の樹脂部分に塗料などを塗らないでください。樹脂部分が劣化し、故障、破損、感電、火災の原因となることがあります。
- ランプの取り付け、取り外しは、ランプ両端の口金付近を持っておこなってください。また、取り付け時は、口金の黒線がソケットの羽部に納まる位置まで確実にランプを差し込んでください。ランプの破損、落下によるケガ、火災の原因となることがあります。

	完全装着状態		不完全装着状態	
装着図				
ランプ装着状態	正常	挿入不足	挿入不足	片側挿入
ランプ点灯状態	点灯	不点灯	点灯	不点灯

- ランプに物をぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。ランプの破損によりケガの原因となることがあります。
- ランプや器具に塗料などを塗らないでください。ランプが過熱し、破損の原因となることがあります。
- 口金のピンが曲がったり、折れたりしたランプは使用しないでください。また、ピンの切断もしないでください。接触不良による過熱、発煙の原因となることがあります。
- ワイヤホルダーを必ず使用してください。ランプ落下によるケガの原因となることがあります。

ご使用上の注意

- 周囲温度は 5℃~40℃ の範囲で使用してください。ランプの短寿命、不点灯、チラツキ、安定器の故障の原因となることがあります。
- ランプ点灯、消灯直後しばらくの間さしみ音が発生する場合がありますが異常ではありません。熱膨張率の異なる部材が温度変化により部材の接触面で摩擦を生じるためであり、特に静かな環境を要求される場所へ取り付けの際は、ゴムやシリコン等の防振材を施すことにより、さしみ音を低減できる場合があります。
- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を湿らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。リモコンの受信部には、ランプの光が入らないよう配慮してください。
- 退色を避けたい場合には紫外線カットランプ (NU) を使用してください。
- 器具を並列に取り付ける場合は、器具 1 台分の間隔以上 離してください。ランプがチラツいたり、熱干渉によりランプ光束が落ちたり、安定器やランプの短寿命の原因となることがあります。
- 漏電遮断器の種類によって電子安定器からの高周波の漏洩電流の影響により漏電遮断器が動作する場合があります。この場合には高周波対応型漏電遮断器を使用してください。電子安定器には高周波雑音を抑制するために、漏洩電流が流れ、電圧フリー電子安定器では、固定電圧式と比較して電流値が大きくなる傾向にあります。尚、この漏洩電流は絶縁劣化とは全く関係ありません。漏電警報器をご使用の場合は、作動電流の設定値にご注意の上使用してください。

- 電源を入れた状態でランプ交換をおこなったときには、保護回路が動作し、ランプが点灯しないことがあります。この様なときには、いったん電源を切り 10 秒以上待って、再度電源を入れてください。
- 電源波形に歪みや変動があるときはチラツキを生じたり、照明器具に若干のうなり (音) を生じる場合があります。
- 調光器との併用はできません。
- 接続する電線は取扱説明書にしたがって使用してください。
- 器具間の電源送りをすることは、取扱説明書にしたがって、他の器具は接続しないでください。
- 施工方法、使用方法によっては、電圧降下が生じることがありますので次の事項を守ってください。
 - ① 器具およびその配線と通信ケーブルなどは、近づけないように施工してください。
 - ② 器具およびその配線と電子機器とをあまり近づけないようにしてください。
 - ③ 器具に接近してワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に動作しない場合があります。また、赤外線リモコン機器や盗難防止センサーを近接して使用しますと機器が正常に動作しない場合があります。
- ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。雑音が入るときは器具から 1 m 以上離して使用してください。
- 電源を投入しても点灯までに 1~2 秒かかることがあります。

保守・点検

- 照明器具および安定器、調光器、配線取付部品 (ソケット、ホルダー、端子など) には寿命があります。
- 設置して 8~10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
- ※ 使用条件は周囲温度 30℃、1 日 10 時間点灯、年間 3000 時間点灯。(JIS C 8105-1 解説による)

- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1 年に 1 回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(弊社ホームページまたは製品カタログに掲載)
- 3 年に 1 回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

定格

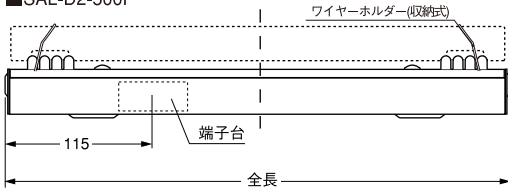
(仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

形式	適合ランプ	灯数	全長 (mm)	取付穴ピッチ (mm)	本体質量 (kg)	入力電圧 (V)	入力電流 (A)	入力電力 (W)	ランプ電力 (W)	力率
SAL-D2- 500F	FRT 500	1	500	340	0.55	100~200~242	0.22~0.11~0.09	21	16	高
SAL-D2- 850F	FRT 850	1	850	620	0.85	100~200~242	0.32~0.16~0.15	32	25	高
SAL-D2-1000F	FRT1000	1	1000	770	0.90	100~200~242	0.37~0.19~0.16	37	29	高
SAL-D2-1250F	FRT1250	1	1250	1020	1.05	100~200~242	0.45~0.22~0.19	44	36	高
SAL-D2-1500F	FRT1500	1	1500	1270	1.15	100~200~242	0.51~0.26~0.22	51	44	高

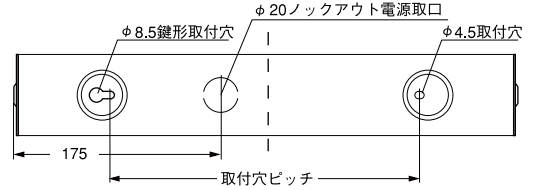
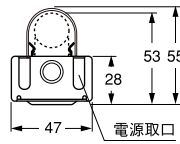
- 周波数 50/60Hz 共用
- 接続する電線は、VVF φ1.6 または φ2.0 を使用してください。
- 端子台での電源送りは 100V 使用時で 25 灯、200V 使用時で 50 灯以内とし、シームレスライン照明器具 / 高照度型以外は接続しないでください。

各部の名称と外形寸法

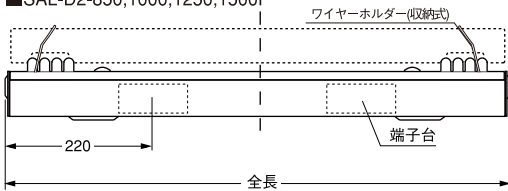
■SAL-D2-500F



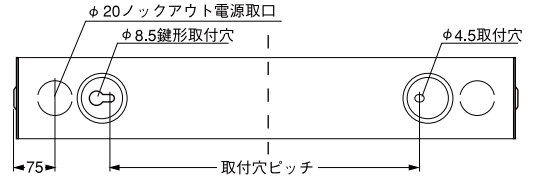
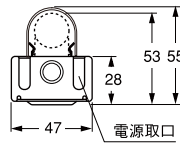
注] SAL-D2-500Fは端子台が片側のみです。



■SAL-D2-850,1000,1250,1500F



付属品: プッシング1ヶ、取付のねじ(3.5×20mmトラスタッピングねじ2ヶ)



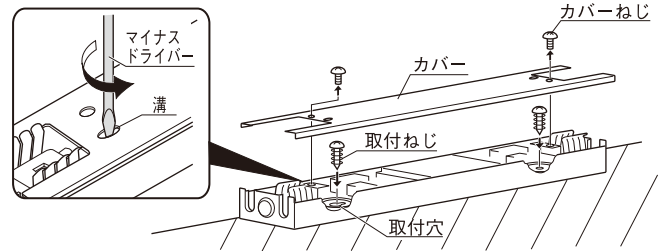
単位: mm
本体: アルミ(アルマイト仕上げ)

取付方法

1. 器具の取り付け

- ・カバー両端のカバーねじ(M4×6mmトラス小ねじ)を外してください。
- ・器具上面部の溝にマイナスドライバーを溝に差し込み反時計回りに回してカバーを開けてください。
- ・φ20ノックアウト電源取口に付属のプッシングを装着してください。
- ・平らな面に取付ねじ(3.5×20mmトラスタッピングねじ)で取付穴を利用して器具が歪まないように確実に固定してください。

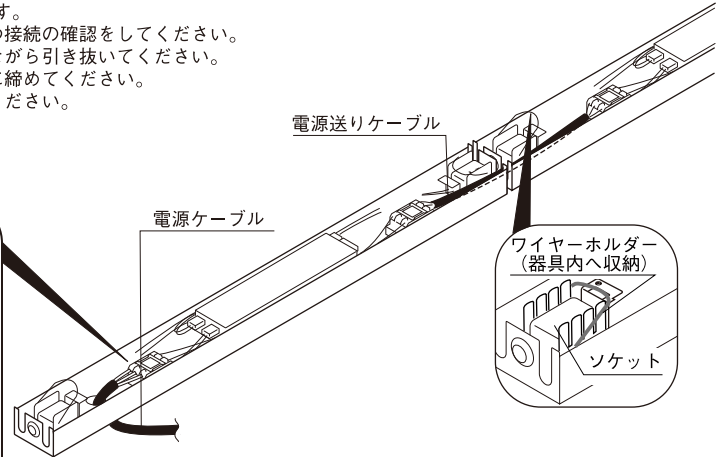
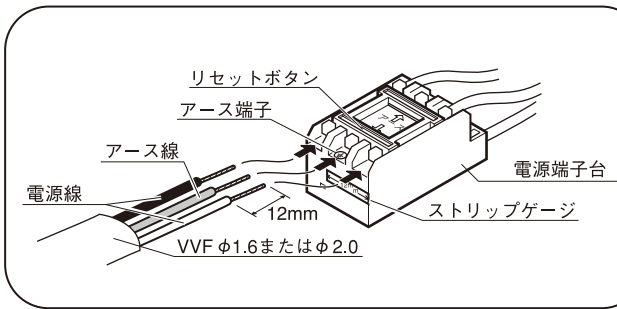
注] 器具を並列に取り付ける場合は、器具間隔を50mm以上(シームレスライン照明器具1台分の間隔以上)離してください。ランプがチラついたり、熱干渉によりランプの光束が落ちたり、安定器やランプの短寿命の原因となることがあります。



2. 電源ケーブルと電源送りの接続

- ・電源ケーブルはVVFφ1.6またはφ2.0を使用し、端子台のストリップゲージに合わせ、心線を12mmストリップしてください。電源の送りにもVVFφ1.6またはφ2.0を使用してください。100V使用時で25灯、200V使用時で50灯までです。
- ・アース端子を確認し、心線が止まるまで確実に端子台へ差し込み、1本ずつ接続の確認をしてください。
- ※電源ケーブルを外す場合は、マイナスドライバーでリセットボタンを押しながら引き抜いてください。
- ・ワイヤーホルダーを器具内へ倒してからカバーを閉じ、カバーねじを確実に締めてください。
- ※上向き取付以外の場合、ワイヤーホルダーをおこしてからカバーを閉じてください。

注] ストリップしすぎると心線が金属に接触し、感電、漏電の原因となる場合があります。シームレスライン照明器具/高照度型以外の器具には接続しないでください。

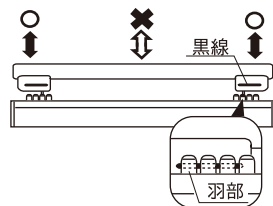


3. ランプの装着

- ・ランプ取り付けの際は、電源が切れていることを確認してください。

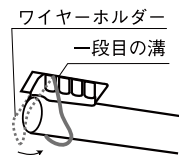
・上向き取付

ランプ両端を持ってソケットにパチッと音がするまで確実にセットし、ランプ口金の黒線がソケット羽部に納まっていることを確認してください。



・上向き取付以外

ワイヤーホルダーをおこし、ランプの両端を持ってソケットにパチッと音がするまで確実にセットし、ランプ口金の黒線がソケット羽部に納まっていることを確認してください。ワイヤーホルダーをソケットの一段目の溝に正しくセットしてください。



※ランプ取り外しの際も、必ず電源を切ってから、ランプ両端を持って外してください。

注] ランプ中央部を持って押し込むと、確実に取り付けられない場合やランプが破損する場合があります。
注] 点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。

4. 電源の供給

- ・全ての作業が完了したら電源を入れ、ランプが点灯することを確認してください。
- ・シームレスライン照明器具は、ソフトスタートですので電源投入後点灯に数秒かかります。

注] 電源を数秒間隔で「入り」-「切り」させた時や、電源を入れた状態でランプ交換をおこなった時には、保護回路が作動し、ランプが点灯しないことがあります。この様な時には、いったん電源を切り10秒以上待って、再度電源を入れてください。